

1 外来医療計画とは

● 記載事項

「外来医療に係る医療提供体制の確保に関する事項」(医療法第30条の4第2項第10号)

▶ 第7次大阪府医療計画に追加

● 計画の期間

令和2(2020)年度から令和5(2023)年度の4年間

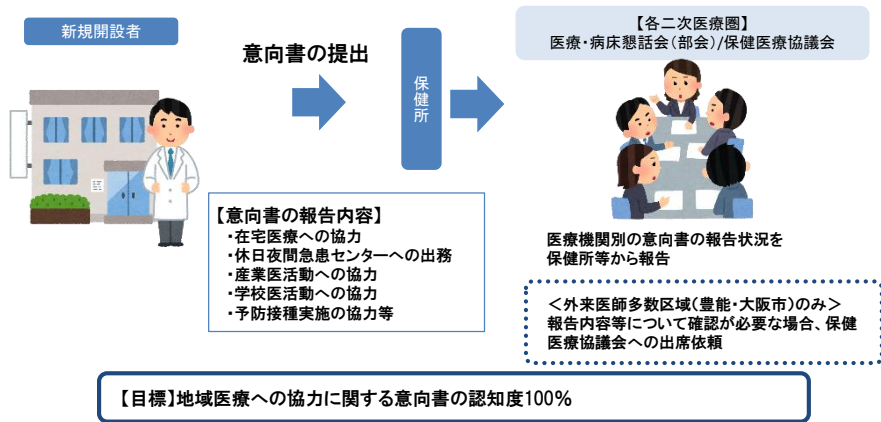
2 計画の取組

医療関係者の地域医療に関する知識の向上、地域医療への協力の啓発を図り、地域医療に対する行動変容を促す

(1) 外来医療機能を「見える化した情報」の医療関係者への周知

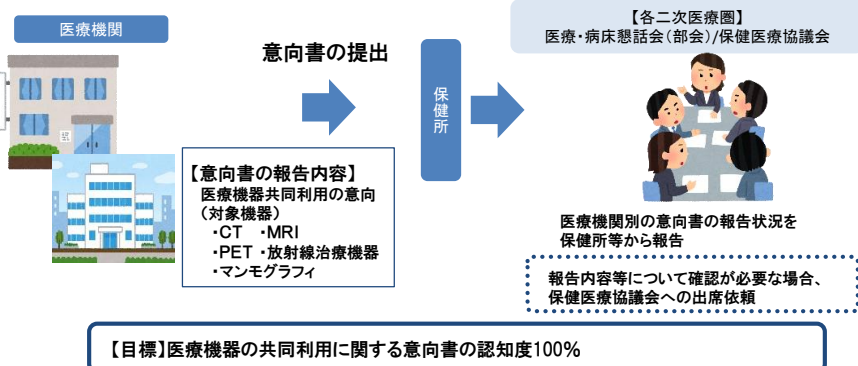
(2) 新規開設者への対応（一般診療所）

◆ 診療所開設後の「地域医療への協力に関する意向書」の提出を依頼



(3) 医療機器の新規購入・更新医療機関への対応（一般診療所・病院）

◆ 「医療機器の共同利用に関する意向書」の提出を依頼



外来医療にかかる大阪府内の状況

● 一般診療所医師の状況

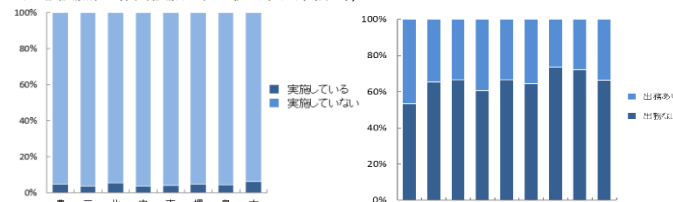
・地域間で診療所医師には偏在があり、豊能と大阪市が外来医師多数区域となっている。

| 二次医療圏 | 外来医師偏在指標 | | 二次医療圏 | 外来医師偏在指標 | |
|-------------------|----------|-------|-------|----------|-------|
| | 全国順位 | 値 | | 全国順位 | 値 |
| 大阪市 (外来医師多数区域) | 14 | 138.3 | 堺市 | 143 | 101.2 |
| 豊能 (外来医師多数区域) | 76 | 112.3 | 北河内 | 145 | 101.0 |
| 【参考】全国 | | 106.3 | 泉州 | 146 | 100.7 |
| 中河内 | 123 | 103.9 | 三島 | 149 | 100.2 |
| 南河内 | 136 | 102.7 | | | |

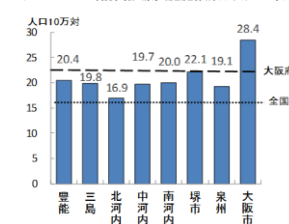
● 外来医療機能等にかかる状況

・時間外の外来診療、在宅医療(訪問診療)、産業医、学校医は、地域の医師によって支えられているが、一般診療所医師は60代以上が約半数を占め、新規開業者の地域医療への協力が必要。

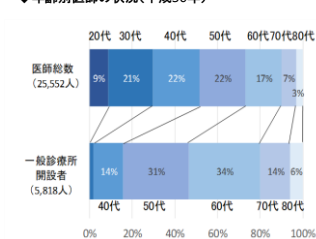
◆ 一般診療所の時間外診療(日曜日・祝日)状況(令和元年) ◆ 学校医の出務の有無(令和元年)



◆ 人口10万対訪問診療実施施設数(平成29年)



◆ 年齢別医師の状況(平成30年)



● 医療機器の配置状況等

・府内医療機関の人口当たりの医療機器数は、全国と大きな差はない。

◆ 調整人口当たりの医療機器保有台数

| 二次医療圏 | 調整人口あたり台数 | | | | |
|-------|-----------|-----|------|---------|---------------|
| | CT | MRI | PET | マンモグラフィ | 放射線治療機器(体外照射) |
| 豊能 | 8.8 | 4.2 | 0.91 | 2.3 | 1.02 |
| 三島 | 8.6 | 3.8 | 0.27 | 2.8 | 0.97 |
| 北河内 | 8.0 | 4.2 | 0.25 | 2.5 | 0.88 |
| 中河内 | 7.2 | 4.0 | 0.38 | 2.8 | 0.80 |
| 南河内 | 6.9 | 5.0 | 0.46 | 2.7 | 0.77 |
| 堺市 | 9.2 | 4.2 | 0.24 | 2.1 | 0.48 |
| 泉州 | 12.1 | 4.0 | 0.34 | 2.4 | 0.80 |
| 大阪市 | 12.5 | 5.6 | 0.88 | 3.6 | 1.30 |
| 大阪府 | 10.2 | 4.6 | 0.54 | 2.8 | 0.92 |
| 全国 | 11.1 | 5.3 | 0.46 | 3.4 | 0.91 |

・CT・MRI等の医療機器は、20%強の一般診療所が共同利用の希望がある。

◆ 医療機器別共同利用の希望一般診療所数の割合(令和元年)

